

日本政治論Ⅱ

科目ナンバリング POL-204

選択 2単位

鬼頭 誠

1. 授業の概要(ねらい)

日本政治の現在を、歴史、理論、行動、国際比較などを念頭に、多角的に捉えつつ解説し、議論の材料を提供し、一方、出席学生には主体的に考え発言することを毎回の授業で促します。事例として、毎回、「今朝」のニュース、新聞・雑誌・テレビ・SNS等に掲載される報道・論説に注目しながら、授業を構成していきます。

政治学をすでに履修した人、並行的に履修する人、これから政治学を学修しようとする人、すべてを念頭において授業します。

授業は、民主政治体制下の「国民」としての政治的素養を培い、就活・公務員試験にも役立つ知恵を育成することを目指し、双方方向を心がけながら進めます。

2. 授業の到達目標

実用的で発展的な授業内容の理解と応用ができる
民主政治の下における主権者国民としての意識が向上する
就職・公務員試験への対応力が向上する

3. 成績評価の方法および基準

授業内発言やレポートと期末試験50%程度で総合評価

4. 教科書・参考文献

参考文献

日刊の新聞各紙、月刊『中央公論』

甲斐祥子・宮田智之著 『政治学のナビゲーター』(2018年)2,200円+税 北樹出版

栗山尚一著 『現代日本外交』(2016年) MELIC指定図書コーナーに配置 岩波現代全書

5. 準備学習の内容

日々、自宅や図書館で新聞を読み、政治ニュースに関心を高めることを習慣づけて授業に臨むことを求めます。授業で使ったプリントをフル活用して期末試験(授業内試験)に挑戦します。毎回の授業は録画録音されますから、ポータルサイトのLMSから、視聴することも毎回の講義概要を確認・印刷することも可能で、復習や補習に活用します。

6. その他履修上の注意事項

シラバスは目安で、適宜変更することがあります。近年まで政治・外交・憲法担当の新聞記者でしたので、日々の新聞報道を活用した授業を心がけます。

授業中の行動はすべて就活に直結すると考えて、礼儀正しく、建設的、現実的に授業に臨みましょう。

毎回授業の様子は録画・公開(履修者のみ)されます。

7. 授業内容

- 【第1回】 現代の日本政治(オリエンテーション) 経済学と現代(1)
- 【第2回】 日本国憲法体制 経済学と現代(2)
- 【第3回】 現代の体制(自民党中心)による政治 経済学と現代(3)
- 【第4回】 現代世界の枠組みの中の日本 経済学と現代(4)
- 【第5回】 政治体制から見た現代日本 経済学と現代(5)
- 【第6回】 これからの選挙制度の可能性
- 【第7回】 現行政党システムの行方
- 【第8回】 世論に動かされる政治
- 【第9回】 大統領的首相の現在
- 【第10回】 現代の官僚・利益団体の課題
- 【第11回】 地方自治・地方分権の可能性
- 【第12回】 国連と日本外交
- 【第13回】 日本の経済外交体制
- 【第14回】 ニュースメディア政治と個人
- 【第15回】 まとめと試験

(注)以上のテーマは、時事ニュースの動向により、変更する場合があります。